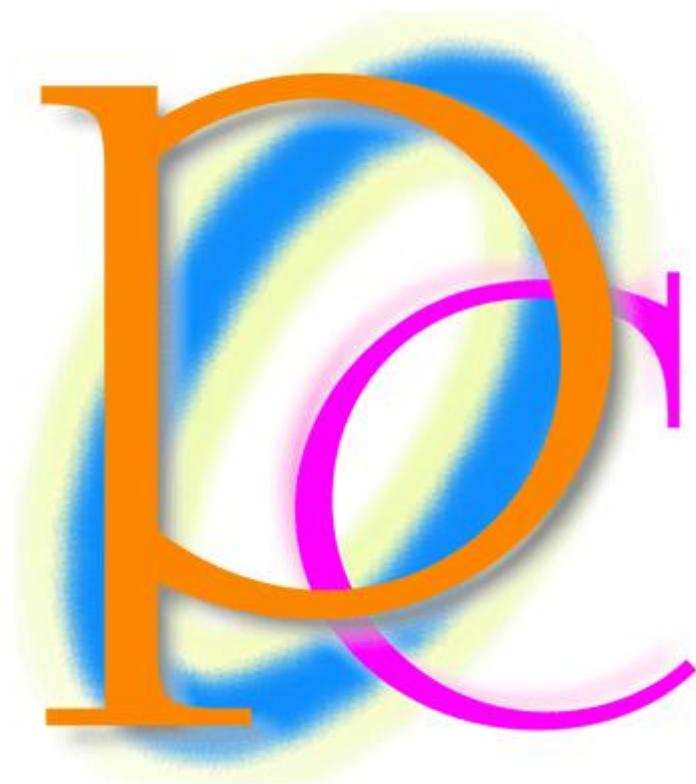


(Windows 7 Version)

# Excel 2010-04-実践



体系学習★初歩からの PC テキスト

第1章: ユーザー定義の表示形式 .....	5
§1-1… 数値の基本表示形式・「#」の利用 .....	5
§1-2… 「0」を表示させる表示形式 .....	6
§1-3… 小数点の桁数 .....	8
§1-4… 強制桁表示 .....	9
§1-5… 文字列の表示形式 .....	10
§1-6… まとめ .....	11
§1-7… 表示形式記号一覧表 .....	12
§1-8… 練習問題 .....	13
§1-9… 桁区切りの表示形式 .....	14
§1-10… 千円単位にする .....	15
§1-11… パーセントの表示形式 .....	16
§1-12… まとめ .....	17
§1-13… 練習問題 .....	18
§1-14… 日付の表示形式 .....	19
§1-15… 元号と和暦の書式記号 .....	20
§1-16… 曜日の書式記号 .....	23
§1-17… まとめ .....	25
§1-18… 練習問題 .....	25
第2章: 条件付き書式 .....	26
§2-1… データバー .....	26
§2-2… データバーの調整 .....	27
§2-3… アイコンセット .....	28
§2-4… 条件付き書式のクリア .....	30
§2-5… 条件付き書式 .....	31
§2-6… ルールの変更 .....	32
§2-7… 相対参照の条件付き書式 .....	35
§2-8… まとめ .....	37
§2-9… 練習問題 .....	37
§2-10… 練習問題 .....	39
§2-11… 練習問題 .....	41
第3章: 複雑な並べ替えと小計行の作成 .....	42
§3-1… 準備と並べ替えの復習 .....	42
§3-2… [ユーザー設定の並べ替え]を使う .....	45
§3-3… 色を使った並べ替え .....	46
§3-4… 小計の基本的な考え方 .....	49
§3-5… 小計の失敗例 .....	52
§3-6… 正しい小計の使い方 .....	55
§3-7… 2段階以上の集計 .....	57
§3-8… まとめ .....	60
§3-9… 練習問題 .....	61

§3-10… 練習問題.....	68
第4章: 印刷設定1 .....	70
§4-1… Webクエリ・Webから表を取り込む.....	70
§4-2… リスト内における選択と移動.....	72
§4-3… ウィンドウ枠の固定1 .....	76
§4-4… ウィンドウ枠の固定2 .....	79
§4-5… 印刷方法の復習.....	80
§4-6… 改ページとクイックアクセスツールバー .....	83
§4-7… 印刷タイトル・タイトル列.....	87
§4-8… 印刷タイトル・タイトル行.....	90
§4-9… 印刷範囲と改ページプレビュー.....	92
§4-10… [印刷プレビューと印刷]ボタンを取りはずす .....	96
§4-11… まとめ.....	96
§4-12… 練習問題.....	97
§4-13… 練習問題.....	101
第5章: 印刷設定2 .....	106
§5-1… 準備.....	106
§5-2… 枠線の設定.....	108
§5-3… 印刷順序・ページの方向.....	111
§5-4… 置換を利用した書式の変更.....	113
§5-5… 拡大/縮小.....	115
§5-6… ヘッダー/フッターに文字を印字させる.....	118
§5-7… フッターと[ページ番号]フィールド .....	121
§5-8… その他の[ヘッダー/フッター]ボタン .....	123
§5-9… ページレイアウトビューで印刷イメージを確認.....	127
§5-10… セルにコメント・メモを入れる .....	129
§5-11… コメントを印刷対象とする .....	131
§5-12… 印刷範囲の設定と印刷時の中央寄せ .....	133
§5-13… 印刷範囲を無視した印刷 .....	136
§5-14… 印刷範囲をクリアする .....	138
§5-15… コメントの削除.....	139
§5-16… まとめ.....	140
§5-17… 練習問題.....	140
§5-18… 練習問題.....	147
第6章: 統合.....	153
§6-1… 準備.....	153
§6-2… 統合とは? .....	153
§6-3… 統合の操作.....	154
§6-4… その他の集計(平均).....	156
§6-5… 統合表の性質を確認する[リンクされない].....	158
§6-6… 自動リンクする統合結果表の作成.....	158

§ 6-7… まとめ	160
§ 6-8… 参考：その他の統合の基準	160
§ 6-9… 練習問題	161
§ 6-10… 練習問題	163
第7章: 様々なグラフ/複合グラフ	164
§ 7-1… スパークラインの作成	164
§ 7-2… スパークラインの調整	166
§ 7-3… 複合グラフ・値が異なる数値群を比較する	168
§ 7-4… 近似曲線(きんじきょくせん)	172
§ 7-5… 散布図	176
§ 7-6… まとめ	178
§ 7-7… 練習問題	178
§ 7-8… 練習問題	183

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントをあらわすものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし、合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
  - ◆ Version No : Excel2010-04-実践-120630
  - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ  
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
  - ◆ 発行人 三橋信彦
  - ◆ 定価 ¥5,040 円

# 第1章:ユーザー定義の表示形式

## § 1-1…数値の基本表示形式・「#」の利用

(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント	
3		1428	池田	90	15		
4		357	安川	120	0		
5		4168	小池	65			
6		98	星野	30	30		
7		515	木村	75	20		
8							

(2) F列には「D列-E列」の計算式を作成します。F3に「=D3-E3」を作成して下さい。

このスクリーンショットは、Excelのワークシートを示しています。F3セルに「=D3-E3」という計算式が作成されています。オレンジ色の矢印が「F3に「=D3-E3」を作成」という注釈を指しています。

(3) F3の計算式を7行目までコピーして下さい。

このスクリーンショットは、Excelのワークシートを示しています。F3セルの計算式がF4からF7までコピーされています。オレンジ色の矢印が「F3の計算式を7行目までコピーして下さい」という注釈を指しています。

(4) ここではF列の数値の見た目(表示形式)を「75ポイント」のようにするつもりです。数値をオリジナル・独自の見た目(表示形式)にする場合には、[セルの書式設定]の[表示形式]を使います。F3:F7を選択して[数値]ボタンをクリックするか、{Ctrl}+[1]キーを押して下さい。

このスクリーンショットは、Excelの「数値」グループの「数値」ボタンを示しています。オレンジ色の矢印が「2. [数値]ボタンをクリック」という注釈を指しています。また、F3:F7セルが選択されていることが示されており、オレンジ色の矢印が「1. セル F3:F7 を選択」という注釈を指しています。

- (5) オリジナルの表示形式をセットする際は、【表示形式】タブの[ユーザー定義]を選択します。ここの[種類]欄に設定したい表示形式を登録するのです。「#ポイント」と入力して下さい。記号は必ず「半角」とします。「#」で、元々入力されていた数値が表示される位置を示します。その前後に表示させたい文字を「"」で囲んで指定します。「#ポイント」とすれば「数値(#)のあとに『ポイント』と表示させる」表示形式の設定は完了です。OKして下さい。

2. [種類]を「#ポイント」に(記号は半角)

1. 【表示形式】タブの[ユーザー定義]に

数値が入る位置を「#」であらわします。文字データは「"」で囲みます。記号は必ず半角文字とします。

- (6) こうすると、F列の計算結果の見た目が「数値+ポイント」となります。なお、計算結果が「0」である個所には「ポイント」だけが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		1428	池田	90	15	75ポイント							
4		357	安川	120	0	120ポイント							
5		4168	小池	65		65ポイント							
6		98	星野	30	30	ポイント							
7		515	木村	75	20	55ポイント							

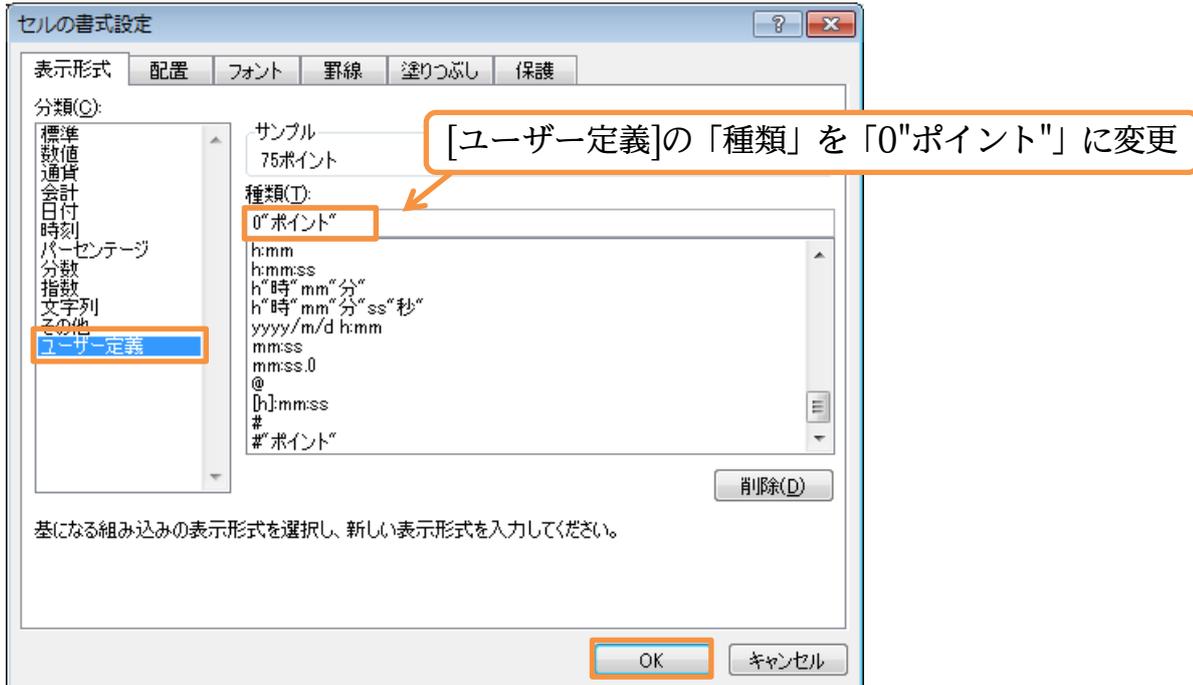
## § 1-2…「0」を表示させる表示形式

- (1) 今度は「0」の時は「0ポイント」と表示させる予定です。まずはF3:F7を選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。

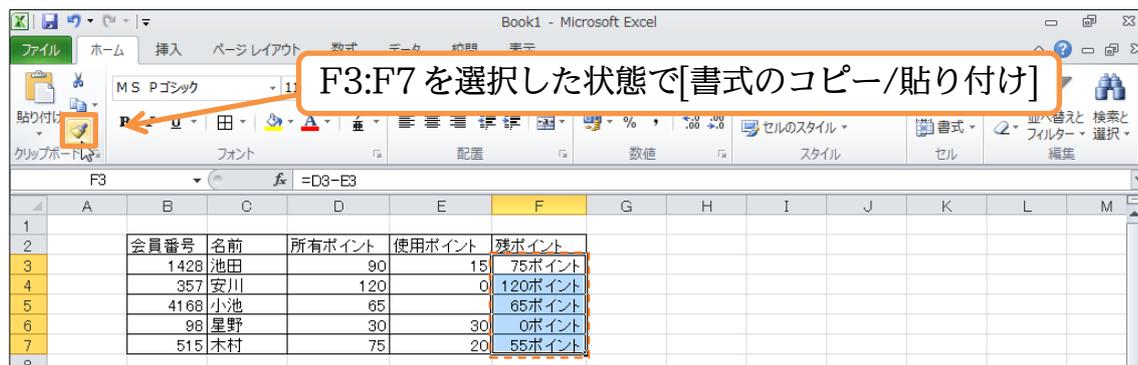
2. [数値]をクリック

1. セルF3:F7を選択

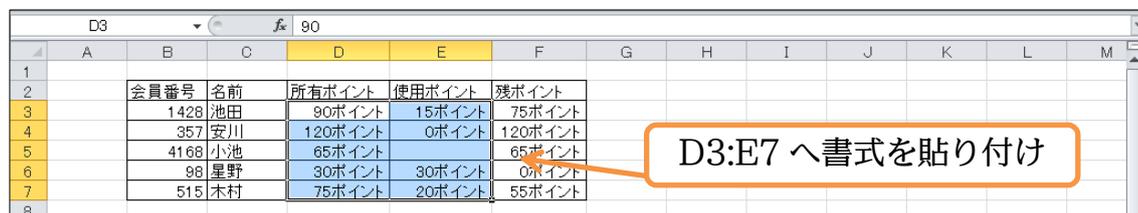
- (2) 先ほどは数値の位置をあらわすのに、「#」記号を使いました。しかし「#」の場合は「0」が表示されません。「0」をしっかりと表示させる際には「#」の代わりに「0」を使います。[ユーザー定義]の「種類」を「0"ポイント"」に変更してOKして下さい。



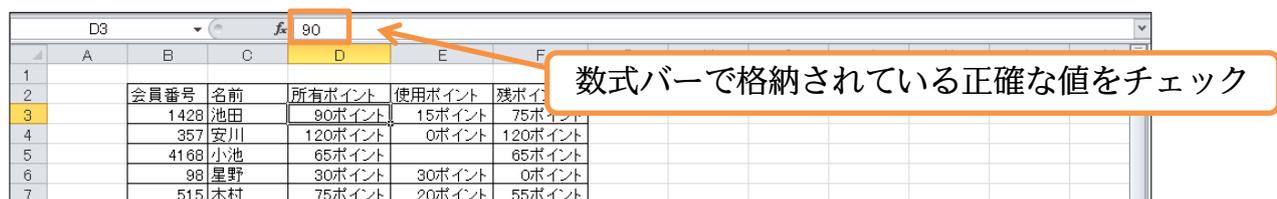
- (3) 「#」も「0」も数値の位置をあらわす書式記号です。ただし、「#」の場合には「0」が表示されないのです。「0」を使えば「0」が表示されます。それではこの書式をD列とE列にコピーします。



- (4) D3:E7へコピーして下さい。なお、何も入力されていないセルには、「ポイント」も表示されません。



- (5) D列E列は、見た目上「〇〇ポイント」となっていますが、格納されている値は「90」などの数値のみです。格納されている正確な値は数式バーでチェックできます。



- (6) 表示形式の状態をテストします。D3の値を「90」から「55」に変更して下さい。数値だけ入力して確定すれば、表示形式を適用した状態で表記されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント							
3		1428	池田	55	15ポイント	40ポイント							
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120ポイント							
5		4168	小池	65ポイント		65ポイント							
6		98	星野	30ポイント	30ポイント	0ポイント							
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55ポイント							

D3の値を「90」から「55」に変更

- (7) このセルに格納されている値は「55」です(数式バーをチェック)。ただし見た目上は「55ポイント」となっています。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント
3		1428	池田	55	15ポイント	40ポイント
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120ポイント
5		4168	小池	65ポイント		65ポイント
6		98	星野	30ポイント	30ポイント	0ポイント
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55ポイント

下書きの段階では「55ポイント」のようには入力しない。「55」だけ入力する。「ポイント」まで含めると、そのセルは計算式に利用できなくなる。

## § 1-3…小数点の桁数

- (1) F列のポイントを、「5.00ポイント」のような表示形式にします。小数点2桁まで表示させるのです。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント		
3		1428	池田	55ポイント	15ポイント	40ポイント		
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120ポイント		
5		4168	小池	65ポイント		65ポイント		
6		98	星野	30ポイント	30ポイント	0ポイント		
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55ポイント		

2. [数値]をクリック

1. F3:F7を選択

- (2) 小数点2桁まで表示させたい場合には「0」を「0.00」とします。つまり[種類]を「0.00"ポイント"」とするのです。小数点以下の桁を表示させたい際には、「0」のあとに「.」を入れ、さらにそのあとに表示させたい桁数分だけ「0」を追加するのです。設定後はOKしましょう。

セルの書式設定												
表示形式	配置	フォント	罫線	塗りつぶし	保護							
分類(O):	標準	数値	通貨	会計	日付	時刻	パーセンテージ	分数	指数	文字列	その他	ユーザー定義
サンプル	40.00ポイント											
種類(D):	0.00"ポイント"											
	h:mm:ss h"時"mm"分" h"時"mm"分"ss"秒" yyyy/m/d h:mm mm:ss mm:ss.0 @ [h]:mm:ss # #"ポイント" 0"ポイント"											
基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。												
											削除(D)	
											OK	キャンセル

[種類]を「0.00"ポイント"」に

(3) F 列において、小数点 2 桁まで表示させる設定が完了しました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント						
3		1428	池田	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント						
4		357	安川	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント						
5		4168	小池	65ポイント		65.00ポイント						
6		98	星野	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント						
7		515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント						
8												

## § 1-4…強制桁表示

(1) B 列には会員番号が入力されています。しかし、桁は揃っていません。今からこれらの番号を無理やり 5 桁で表示させてみます。この設定もオリジナルの表示形式を作成することで可能になるのです。

1. B3:B7 を選択

2. [数値]をクリック

(2) [ユーザー定義]の[種類]欄に、絶対に表示させたい桁の分だけ「0」を打ちます。今回は絶対に 5 桁は表示させる設定をするので、「00000」と打ち込み OK します。

[ユーザー定義]の[種類]欄に「00000」を設定

(3) B 列においては、必ず 5 桁まで表示されるようになりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント						
3		01428	池田	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント						
4		00357	安川	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント						
5		04168	小池	65ポイント		65.00ポイント						
6		00098	星野	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント						
7		00515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント						
8												

- (4) なお、5桁より大きい数値を入力した場合には、通常通りの表示形式で表示されます。  
B4に6桁の数値「123456」を入力してみましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		会員番号	名前	所有ポイント								
3		01428	池田	55								
4		123456	安川	120								
5		04168	小池	65ポイント		65.00ポイント						
6		00098	星野	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント						
7		00515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント						
8												

- (5) 5桁より大きい桁の数値を打ち込んだ場合には、その値がそのまま表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント						
3		01428	池田	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント						
4		123456	安川	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント						
5		04168	小池	65ポイント		65.00ポイント						
6		00098	星野	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント						
7		00515	木村	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント						
8												

## § 1-5…文字列の表示形式

- (1) 名前が入力済みであるC列の各文字データのあとに、「様」を追加した状態で表示するよう設定してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。

- (2) 数字の位置は「0」や「#」で指定しましたが、文字の位置は半角の「@」で指定します。表示形式を「@様」としましょう。

- (3) 名前欄が「〇〇様」となりました。セルに入力されている値が数値である場合と文字である場合とでは、使用する書式記号が異なるのです。完成後はこのファイルを閉じましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		会員番号	名前	所有ポイント	使用ポイント	残ポイント						
3		01428	池田様	55ポイント	15ポイント	40.00ポイント						
4		123456	安川様	120ポイント	0ポイント	120.00ポイント						
5		04168	小池様	65ポイント		65.00ポイント						
6		00098	星野様	30ポイント	30ポイント	0.00ポイント						
7		00515	木村様	75ポイント	20ポイント	55.00ポイント						
8												

## § 1-6…まとめ

- ◆ ユーザー定義の表示形式を作成する際には、数値の位置を半角の「0」または「#」で指定します。
- ◆ 文字の位置は半角の「"」で囲み指定します。「1525」を「1525円」とするならば「0"円"と指定するのです。
- ◆ 「0」が入力されているセルや計算結果が「0」のセルで「#」記号を使うと、ゼロ・0が表示されません。
- ◆ 小数点以下の桁数を表示させる場合には、「.」のあとに表示させたいだけゼロ・0を用います。小数点2桁表示ならば、「0.00」です。
- ◆ 「000」のようにゼロ・0を複数回使うと、その桁数分だけ必ず表示されるようになります。
- ◆ 文字の位置をあらわす書式記号は半角の「@」です。

## § 1-7…表示形式記号一覧表

No.	対象	書式	意味	例
1	数値	#	数字(0は省略)	0⇒空白 1234⇒1234 1.1⇒1
2	数値	0	数字(0も表示)	0⇒0 1234⇒1234 1.1⇒1
3	数値	0.00	小数2桁まで表示	0⇒0.00 1234⇒1234.00 1.1⇒1.10
4	数値	000	数字(0も表示)	0⇒000 1234⇒1234 5⇒005
5	数値	#,##0	3桁区切りカンマ	1234⇒1,234
6	数値	#,##0,	百の位以下非表示	1234567⇒1,234
7	数値	0"人(文字列)"	文字列追加	25⇒25人
8	数値	0%	倍率を%表記に	1.2⇒120% 0.06⇒6% 0.015⇒2%
9	数値	0.0%	小数1桁まで表示	1.2⇒120.0% 0.06⇒6.0% 0.015⇒1.5%
10	文字列	@	文字データ	山⇒山
11	文字列	@"県(文字列)"	文字列追加	神奈川⇒神奈川県
12	日付	yy	西暦2桁	1957/12/06⇒57
13	日付	yyyy	西暦4桁	1957/12/06⇒1957
14	日付	ge	和暦(H13)	2001/12/06⇒H13
15	日付	gge	和暦(平13)	2001/12/06⇒平13
16	日付	ggge	和暦(平成13)	2001/12/06⇒平成13
17	日付	m	月1桁	2001/02/06⇒2
18	日付	mm	月2桁	2001/02/06⇒02
19	日付	d	日1桁	2001/01/06⇒6
20	日付	dd	日2桁	2001/01/06⇒06
21	日付	aaa	曜日	2001/11/30⇒金
22	日付	aaaa	曜日(+曜日)	2001/11/30⇒金曜日
23	時刻	h	時刻1桁	04:06:03⇒4 26:43:08⇒02
24	時刻	hh	時刻2桁	04:06:03⇒04
25	時刻	[h]	24時間以上	26:43:08⇒26
26	時刻	m	分1桁	04:06:03⇒6
27	時刻	mm	分2桁	04:06:03⇒06
28	時刻	s	秒1桁	04:06:03⇒3
29	時刻	ss	秒2桁	04:06:03⇒03
30	分数	#/#	全てを分数	1.5⇒3/2
31	分数	#/4	分母を4に固定	1.5⇒6/4
32	分数	# #/#	帯分数	1.5⇒1 1/2

- ◆ 文字データは「"」で囲みます。「1250」を「1,250 人」と表示したい場合には「#,##0"人"」とします。
- ◆ 半角の「%」を付けると小数值が 100 倍になった状態で表示されます。
- ◆ 半角の「+」「-」「/」「(」「)」 「¥」「.」は、「"」で囲む必要はありません。
- ◆ ACCESS の場合は「分」に"n"を使います。
- ◆ 詳しくはヘルプなどを参照下さい。

## § 1-8…練習問題

- (1) 次のような計算表を作成しましょう。赤字部分は計算で表示させます。下書き入力時には「円」や「人」などの単位は入力しません。下書きの際に入力してしまうと、計算ができないので注意します。

	A	B	C	D	E	F				
1	本日の売上									
2										
3										
4							支店番号	売上	従業員数	一人あたり単価
5							016	850000円	8人	106250円
6							820	630000円	8人	78750円
7							007	1080000円	15人	72000円
8							022	450000円	5人	90000円
9										

- (2) 次のような計算表を作成しましょう。理想体重は「身長<sup>2</sup>×20÷10000」です。べき乗には「^」(ハットマーク)を使います。  
BMIは「体重÷身長÷身長×10000」です。

	A	B	C	D	E	F	G	H						
1	BMI計算表													
2									氏名	身長	体重	理想体重	理想体重との差	BMI
3									青木	155.5cm	42.0kg	48.4kg	-6.4kg	Pt:17.4
4									犬養	150.0cm	45.0kg	45.0kg	0.0kg	Pt:20.0
5									佐々木	178.0cm	66.0kg	63.4kg	2.6kg	Pt:20.8
6									芝原	161.5cm	50.5kg	52.2kg	-1.7kg	Pt:19.4
7														

- (3) 左のように表を作成し、完成後は表示形式を設定することで、右のように変更しましょう。

	A	B	C	D	E			
1	個人情報表							
2						氏名	年齢	性別
3						佐野かをり	39	女
4						松下栄治	51	男
5						渡辺真由美	26	女
6						藤本絵里	34	女
7								

	A	B	C	D	E			
1	個人情報表							
2						氏名	年齢	性別
3						佐野かをり様	age:39	女性
4						松下栄治様	age:51	男性
5						渡辺真由美様	age:26	女性
6						藤本絵里様	age:34	女性
7								

- (4) 左のように表を作成し、完成後は表示形式を設定することで、右のように変更しましょう。なお、ハイフン(-)など、演算記号(「+」「-」「/」)と半角カッコ(「(」「)」)は二重引用符で囲む必要はありません。

(郵便番号の解: "〒"000-0000) (電話番号の解: 000-000-0000)

	A	B	C	D	E			
1	連絡先表							
2						氏名	郵便番号	携帯電話番号
3						達川	2440003	904842886
4						君島	2450006	906507911
5						向井	2450001	906533531
6								

	A	B	C	D	E			
1	連絡先表							
2						氏名	郵便番号	携帯電話番号
3						達川	〒244-0003	090-484-2886
4						君島	〒245-0006	090-650-7911
5						向井	〒245-0001	090-653-3531
6								

## § 1-9…桁区切りの表示形式

(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2			前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ	
3	店舗1	6354700	7439300			6545	5396			
4	店舗2	14576300	15385900			9544	12310			
5	店舗3	5789400	0			7426	0		閉店	
6	店舗4	23408500	17382800			13214	12455			
7	店舗5	1678700	1083200			975	842			
8	店舗6	14674000	18287500			8526	11609			
9										

(2) E列にはD列÷C列、H列にはG列÷F列の計算式を作成して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2			前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ	
3	店舗1	6354700	7439300	1.17067682	6545	5396	0.824446142			
4	店舗2	14576300	15385900	1.05554222	9544	12310	1.289815591			
5	店舗3	5789400	0	0	7426	0	0	閉店		
6	店舗4	23408500	17382800	0.74258496	13214	12455	0.94256092			
7	店舗5	1678700	1083200	0.64526121	975	842	0.863589744			
8	店舗6	14674000	18287500	1.24625187	8526	11609	1.361599812			

(3) 今からF列とG列の数値を「6,545人」のような表示形式にしてみます。桁区切りカンマなしならば「0"円)」と指定しますが、今回はカンマありです。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。

2. [数値]をクリック

1. F3:G8 を選択

(4) 桁区切りカンマありの場合には「0」の代わりに「#,##0」を使います。記号には半角文字を使います。[ユーザー定義]の「種類」に「#,##0"人)」を指定し、OKします。

[ユーザー定義]の「種類」に「#,##0"人)」と指定

[ユーザー定義]の記号は必ず「半角文字」で!

(5) 「0」の代わりに「#,##0」を使うと桁区切りカンマを表示させることができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ			
3		店舗1	6354700	7439300	1.17067682	6,545人	5,396人	0.824446142				
4		店舗2	14576300	15385900	1.05554222	9,544人	12,310人	1.289815591				
5		店舗3	5789400	0	0	7,426人	0人	0	閉店			
6		店舗4	23408500	17382800	0.74258496	13,214人	12,455人	0.94256092				
7		店舗5	1678700	1083200	0.64526121	975人	842人	0.863589744				
8		店舗6	14674000	18287500	1.24625187	8,526人	11,609人	1.361599812				

## § 1-10…千円単位にする

(1) C～D列の数値においては、千円単位で表示させる設定を試みます。「#,##0」のあとにさらに「,」をつけると「0」が3つ省略されます。C3:D8を選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。

2. [数値]をクリック

1. C3:D8 を選択

(2) 千円単位にする際は、「#,##0」を「#,##0,」とします。最後の「0」のうしろに、さらに「,」を入れるのです。[ユーザー定義]の「種類」に「#,##0,千円」と指定し、OKして下さい。

[ユーザー定義]の「種類」に「#,##0,千円」と指定

OK キャンセル

(3) C～D列の表示が、千円単位となりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ			
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	1.17067682	6,545人	5,396人	0.824446142				
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	1.05554222	9,544人	12,310人	1.289815591				
5		店舗3	5,789千円	0千円	0	7,426人	0人	0	閉店			
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	0.74258496	13,214人	12,455人	0.94256092				
7		店舗5	1,679千円	1,083千円	0.64526121	975人	842人	0.863589744				
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	1.24625187	8,526人	11,609人	1.361599812				

(4) なお、セルに格納されている値には変化ありません。百の位以下が四捨五入された状態で表示されているだけです。C3 で確認しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2												
3		店舗1	6,355千円	7,439千円								
4		店舗2	14,576千円	15,386千円								
5		店舗3	5,789千円	0千円		0	7,426人		0人		0	閉店
6		店舗4	23,409千円	17,383千円								
7		店舗5	1,679千円	1,083千円								
8		店舗6	14,674千円	18,288千円								

2. 数式バーで、格納されている値には変化がないことを確認

1. セルC3をアクティブ

## § 1-11…パーセントの表示形式

(1) E列の数値は、「約117%」のような形式で表示させます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2			前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	1.17067682	6,545人	5,396人	0.824446142
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	1.05554222	9,544人	12,310人	1.289815591
5		店舗3	5,789千円	0千円	0	7,426人	0人	0
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	0.74258496	13,214人	12,455人	0.94256082
7		店舗5	1,679千円	1,083千円	0.64526121	975人	842人	0.863589744
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	1.24625187	8,526人	11,609人	1.361599812

2. [数値]をクリック

1. E3:E8 を選択

(2) パーセント表示にする場合には「0%」を使います。[ユーザー定義]の「種類」に「約0%」と指定し、OKして下さい。

**セルの書式設定**

表示形式 | 配置 | フォント | 罫線 | 塗りつぶし | 保護

分類(O):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義**

種類(I):

- サンプル
- 約117%
- 約0%**
- G/標準
- 0
- 0.00
- ###0
- ###0.00
- \* ##0 ; \* -##0 ; \* - ; @
- \* ##0.00 ; \* -##0.00 ; \* - ; @
- \* ##0 ; \* \* -##0 ; \* - ; @
- \* ##0.00 ; \* \* -##0.00 ; \* - ; @
- ##0;-##0
- ##0;[赤]-##0

削除(D)

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

OK | キャンセル

[ユーザー定義]の「種類」に「約0%」と指定

(3) E列の数値に「約」が付き、「%」形式で表示されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2			前月上	今月上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ			
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	約117%	6,545人	5,396人	0.824446142				
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	約106%	9,544人	12,310人	1.289815591				
5		店舗3	5,789千円	0千円	約0%	7,426人	0人	0			0	閉店
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	約74%	13,214人	12,455人	0.94256082				
7		店舗5	1,679千円	1,083千円	約65%	975人	842人	0.863589744				
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	約125%	8,526人	11,609人	1.361599812				

(4) H列の比率は「約82.4%」のように小数点1桁まで表示させる予定です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	約117%	6,545人	5,396人	0.824446142	
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	約106%	9,544人	12,310人	1.289815591	
5		店舗3	5,789千円	0千円	約0%	7,426人	0人	0	閉店
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	約74%	13,214人	12,455人	0.94256092	
7		店舗5	1,679千円	1,083千円	約65%	975人	842人	0.863589744	
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	約125%	8,526人	11,609人	1.361599812	

(5) 小数点以下も表示させたい場合には「0.00%」のように、表示させたい桁数分だけ、小数点のあとに「0」を追加します。今回は1桁だけ表示させます。「"約"0.0%」の表示形式を作成して下さい。

セルの書式設定

表示形式: 配置, フォント, 罫線, 塗りつぶし, 保護

分類(C): 標準, 数値, 通貨, 会計, 日付, 時刻, パーcentage, 分数, 指数, 文字列, その他, **ユーザー定義**

サンプル: 約82.4%

種類(T): 約0.0%

削除(D)

OK, キャンセル

(6) H列の比率が小数点1桁までのパーセント形式で表示されました。完成後はこのファイルは閉じましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1			前月売上	今月売上	売上前月比	前月来客数	今月来客数	来客数前月比	メモ
3		店舗1	6,355千円	7,439千円	約117%	6,545人	5,396人	約82.4%	
4		店舗2	14,576千円	15,386千円	約106%	9,544人	12,310人	約129.0%	
5		店舗3	5,789千円	0千円	約0%	7,426人	0人	約0.0%	閉店
6		店舗4	23,409千円	17,383千円	約74%	13,214人	12,455人	約94.3%	
7		店舗5	1,679千円	1,083千円	約65%	975人	842人	約86.4%	
8		店舗6	14,674千円	18,288千円	約125%	8,526人	11,609人	約136.2%	

## §1-12…まとめ

- ◆ ユーザー定義の表示形式において、千桁区切りカンマ入りの数値を扱う時には、「#,##0」を用います。
- ◆ 千円単位にする際は「#,##0,」を用います。これでゼロ3つが省略されます。
- ◆ 「%」を表示形式に用いれば、数値部分は100倍で表示されます。

## § 1-13…練習問題

(1) 以下のような計算表を作成しましょう。割引率のセル(D10)は変更できるようにしましょう。

E10 の計算式には D10 の数値を使用するのです。完成したら数量と割引率を変更してみましょう。

	A	B	C	D	E	F																				
1																										
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>商品名</th> <th>ケース単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みかん</td> <td>3,200円</td> <td>ケース数 8</td> <td>25,600円</td> </tr> <tr> <td>りんご</td> <td>980円</td> <td>ケース数 7</td> <td>6,860円</td> </tr> <tr> <td>イチゴ</td> <td>1,230円</td> <td>ケース数 12</td> <td>14,760円</td> </tr> <tr> <td>ぶどう</td> <td>1,640円</td> <td>ケース数 8</td> <td>13,120円</td> </tr> </tbody> </table>						商品名	ケース単価	数量	金額	みかん	3,200円	ケース数 8	25,600円	りんご	980円	ケース数 7	6,860円	イチゴ	1,230円	ケース数 12	14,760円	ぶどう	1,640円	ケース数 8	13,120円
商品名	ケース単価	数量	金額																							
みかん	3,200円	ケース数 8	25,600円																							
りんご	980円	ケース数 7	6,860円																							
イチゴ	1,230円	ケース数 12	14,760円																							
ぶどう	1,640円	ケース数 8	13,120円																							
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>小計</td> <td>60,340円</td> </tr> </tbody> </table>						小計	60,340円																		
小計	60,340円																									
10	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>割引率15%</td> <td>割引額 9,051円</td> </tr> </tbody> </table>						割引率15%	割引額 9,051円																		
割引率15%	割引額 9,051円																									
11	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>お支払金額</td> <td>51,289円</td> </tr> </tbody> </table>						お支払金額	51,289円																		
お支払金額	51,289円																									
12																										

(変更前)

	A	B	C	D	E	F																				
1																										
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>商品名</th> <th>ケース単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みかん</td> <td>3,200円</td> <td>ケース数 10</td> <td>32,000円</td> </tr> <tr> <td>りんご</td> <td>980円</td> <td>ケース数 4</td> <td>3,920円</td> </tr> <tr> <td>イチゴ</td> <td>1,230円</td> <td>ケース数 5</td> <td>6,150円</td> </tr> <tr> <td>ぶどう</td> <td>1,640円</td> <td>ケース数 11</td> <td>18,040円</td> </tr> </tbody> </table>						商品名	ケース単価	数量	金額	みかん	3,200円	ケース数 10	32,000円	りんご	980円	ケース数 4	3,920円	イチゴ	1,230円	ケース数 5	6,150円	ぶどう	1,640円	ケース数 11	18,040円
商品名	ケース単価	数量	金額																							
みかん	3,200円	ケース数 10	32,000円																							
りんご	980円	ケース数 4	3,920円																							
イチゴ	1,230円	ケース数 5	6,150円																							
ぶどう	1,640円	ケース数 11	18,040円																							
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>小計</td> <td>60,110円</td> </tr> </tbody> </table>						小計	60,110円																		
小計	60,110円																									
10	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>割引率8%</td> <td>割引額 4,809円</td> </tr> </tbody> </table>						割引率8%	割引額 4,809円																		
割引率8%	割引額 4,809円																									
11	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>お支払金額</td> <td>55,301円</td> </tr> </tbody> </table>						お支払金額	55,301円																		
お支払金額	55,301円																									
12																										

(変更後)

(2) 次のような計算表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H																														
1																																						
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>走行距離</th> <th>稼働日数</th> <th>1日あたり距離</th> <th>使用燃料</th> <th>1日あたりの走行距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レンタカー1</td> <td>3,875km</td> <td>14日</td> <td>約 277km</td> <td>482ℓ</td> <td>約 8.0km</td> </tr> <tr> <td>レンタカー2</td> <td>2,246km</td> <td>25日</td> <td>約 90km</td> <td>185ℓ</td> <td>約 12.1km</td> </tr> <tr> <td>レンタカー3</td> <td>6,831km</td> <td>59日</td> <td>約 116km</td> <td>346ℓ</td> <td>約 19.7km</td> </tr> <tr> <td>レンタカー4</td> <td>4,531km</td> <td>59日</td> <td>約 77km</td> <td>683ℓ</td> <td>約 6.6km</td> </tr> </tbody> </table>									走行距離	稼働日数	1日あたり距離	使用燃料	1日あたりの走行距離	レンタカー1	3,875km	14日	約 277km	482ℓ	約 8.0km	レンタカー2	2,246km	25日	約 90km	185ℓ	約 12.1km	レンタカー3	6,831km	59日	約 116km	346ℓ	約 19.7km	レンタカー4	4,531km	59日	約 77km	683ℓ	約 6.6km
	走行距離	稼働日数	1日あたり距離	使用燃料	1日あたりの走行距離																																	
レンタカー1	3,875km	14日	約 277km	482ℓ	約 8.0km																																	
レンタカー2	2,246km	25日	約 90km	185ℓ	約 12.1km																																	
レンタカー3	6,831km	59日	約 116km	346ℓ	約 19.7km																																	
レンタカー4	4,531km	59日	約 77km	683ℓ	約 6.6km																																	
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
7																																						

(3) 次のような表を作成しましょう。完成後は右のように[表示形式]を使って変更します。

	A	B	C	D								
1												
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>川の名前</th> <th>長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利根川</td> <td>322,000m</td> </tr> <tr> <td>荒川</td> <td>174,000m</td> </tr> <tr> <td>多摩川</td> <td>138,000m</td> </tr> </tbody> </table>				川の名前	長さ	利根川	322,000m	荒川	174,000m	多摩川	138,000m
川の名前	長さ											
利根川	322,000m											
荒川	174,000m											
多摩川	138,000m											
3												
4												
5												
6												



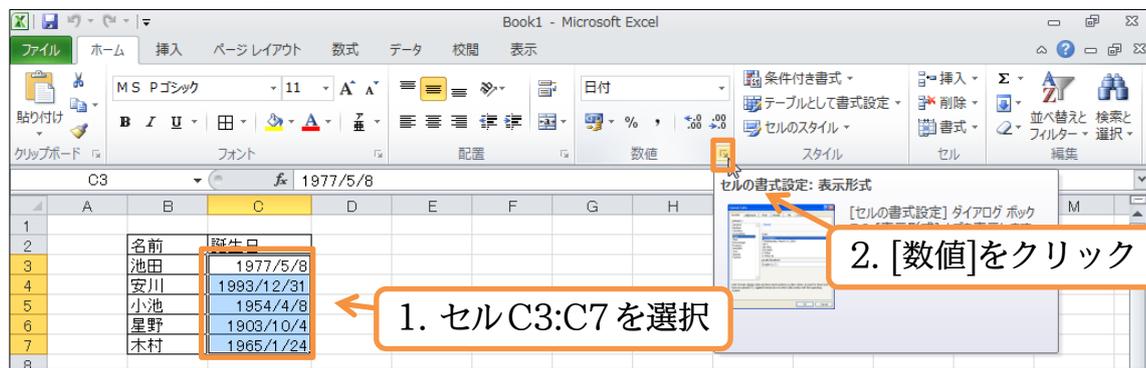
	A	B	C	D								
1												
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>川の名前</th> <th>長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利根川</td> <td>322km</td> </tr> <tr> <td>荒川</td> <td>174km</td> </tr> <tr> <td>多摩川</td> <td>138km</td> </tr> </tbody> </table>				川の名前	長さ	利根川	322km	荒川	174km	多摩川	138km
川の名前	長さ											
利根川	322km											
荒川	174km											
多摩川	138km											
3												
4												
5												
6												

## § 1-14…日付の表示形式

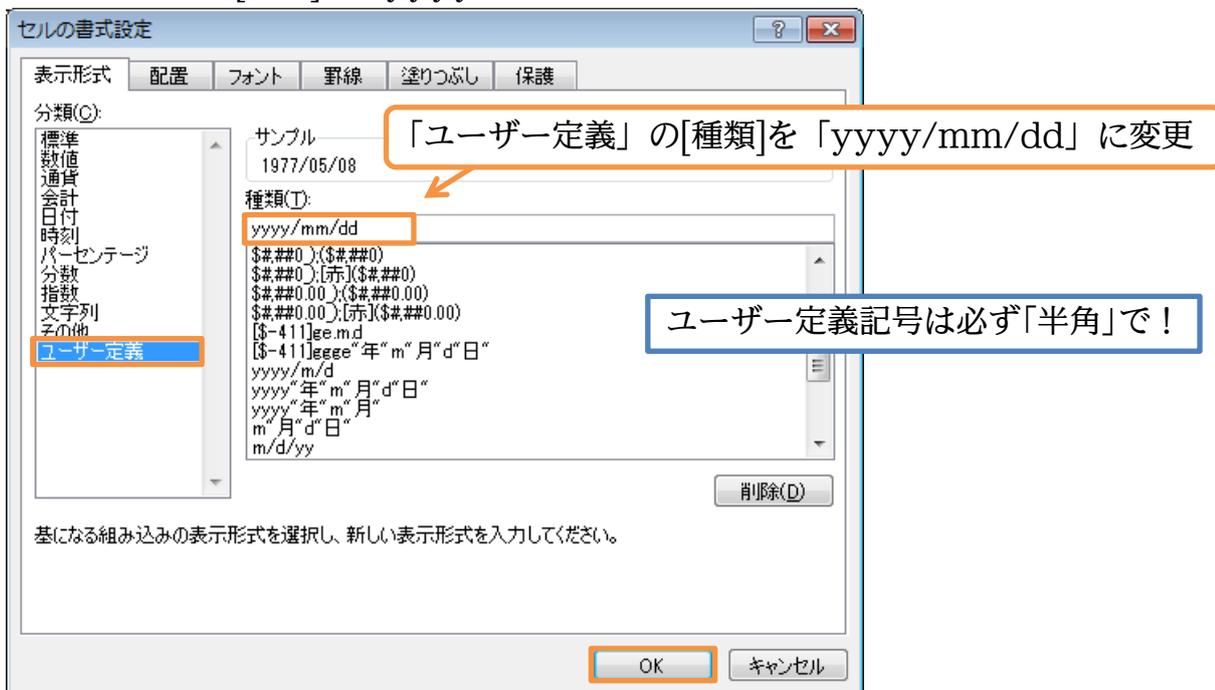
(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		名前	誕生日	
3		池田	1977/5/8	
4		安川	1993/12/31	
5		小池	1954/4/8	
6		星野	1903/10/4	
7		木村	1965/1/24	
8				

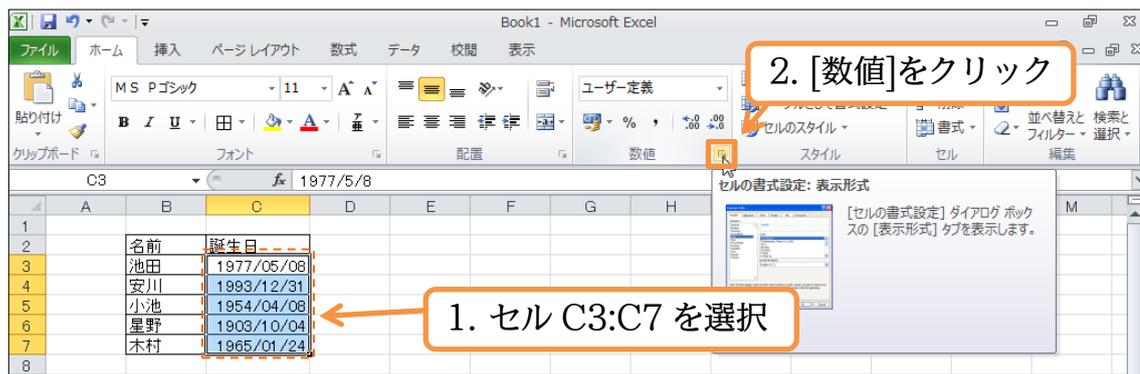
(2) C列の日付データは、1桁と2桁の月・日が混ざっているので揃っていません。今から「1977/05/08」のように、1桁の月や日を「08」とあらかず状態に変更してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。



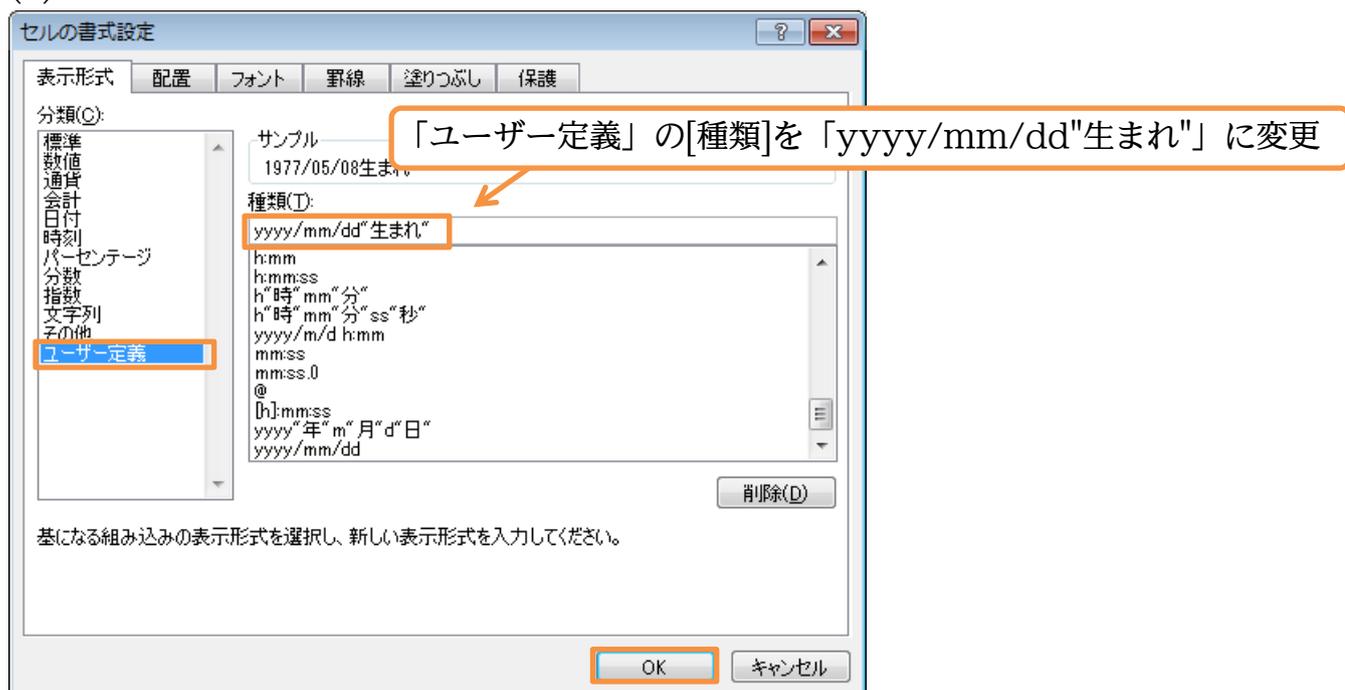
(3) [西暦4桁表示]は「yyyy」であらわします。[月2桁表示]は「mm」、[日2桁表示]は「dd」です。なお、1桁表示はそれぞれ「m」「d」となります。ここでは「ユーザー定義」の[種類]を「yyyy/mm/dd」としてOKしましょう。



- (4) C列の表示が、「西暦 4桁/月 2桁/日 2桁」となりました。さて、さらに表示形式を変更します。「～生まれ」とする予定です。選択したまま[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。



- (5) 今ある表示形式記号のあとに「生まれ」を付け OK しましょう。

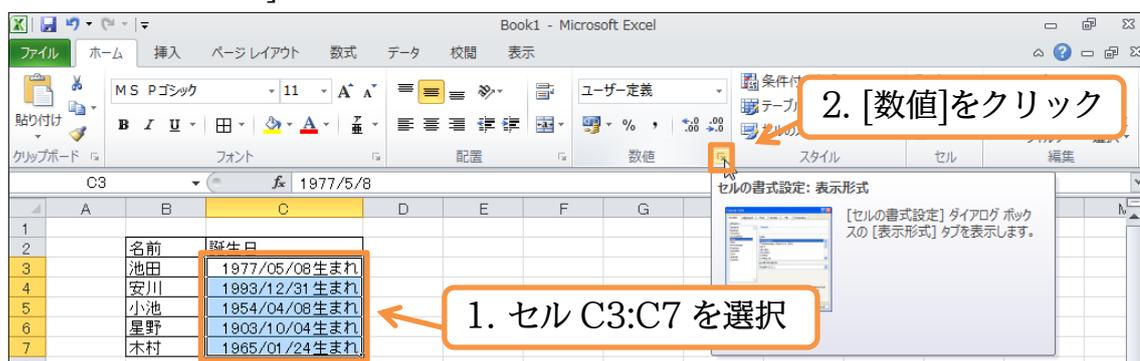


- (6) 修正が完了しました。

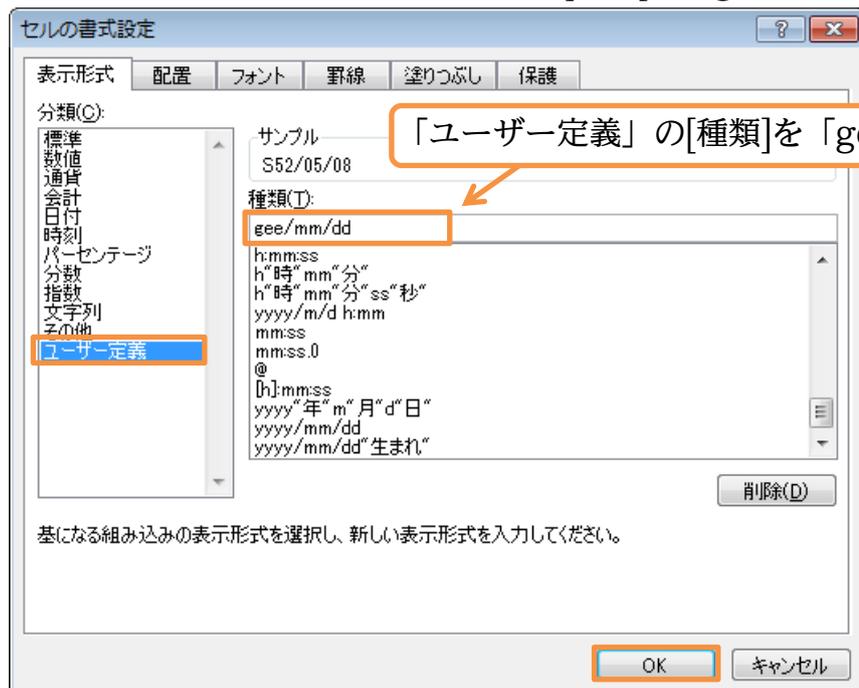
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	誕生日										
3		池田	1977/05/08生まれ										
4		安川	1993/12/31生まれ										
5		小池	1954/04/08生まれ										
6		星野	1903/10/04生まれ										
7		木村	1965/01/24生まれ										

## § 1-15…元号と和暦の書式記号

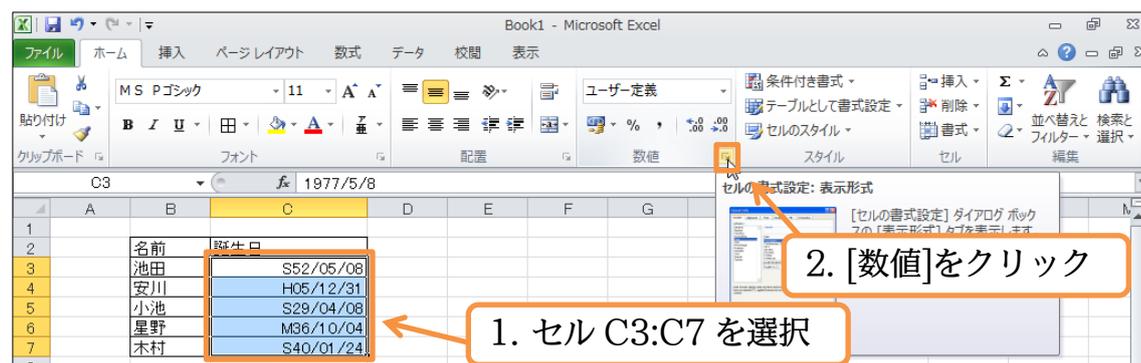
- (1) 「西暦 4桁」の部分を「S52」のように、「元号+和暦」に変更してみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。



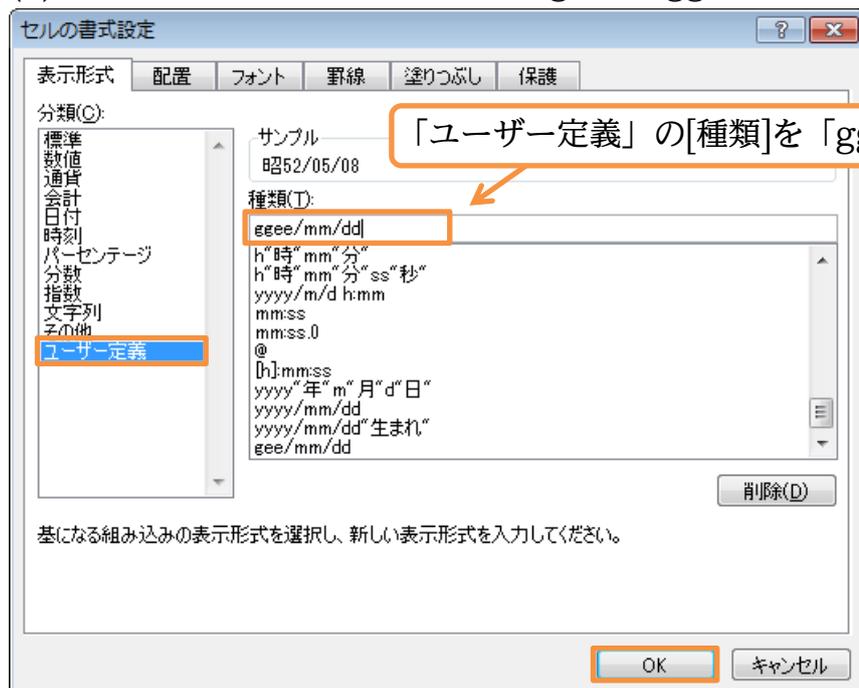
- (2) 「西暦4桁」は「yyyy」であらわしました。「S」「H」のような「アルファベットの元号付き」は「g」であらわします。また「52」のような「和暦の年」は「e」であらわします。2桁なら「ee」です。[種類]を「gee/mm/dd」にしてOKして下さい。



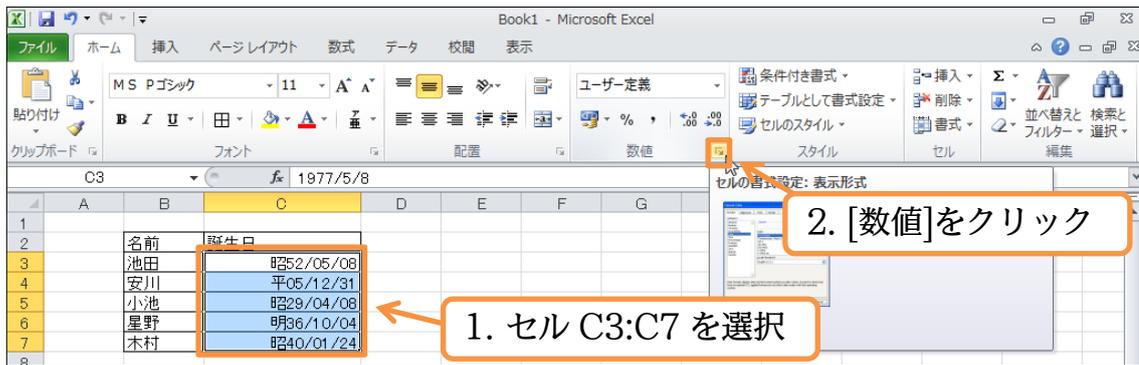
- (3) 和暦で表示されました。さて元号の「g」を「gg」とすると、漢字1字の元号になります。変更してみます。



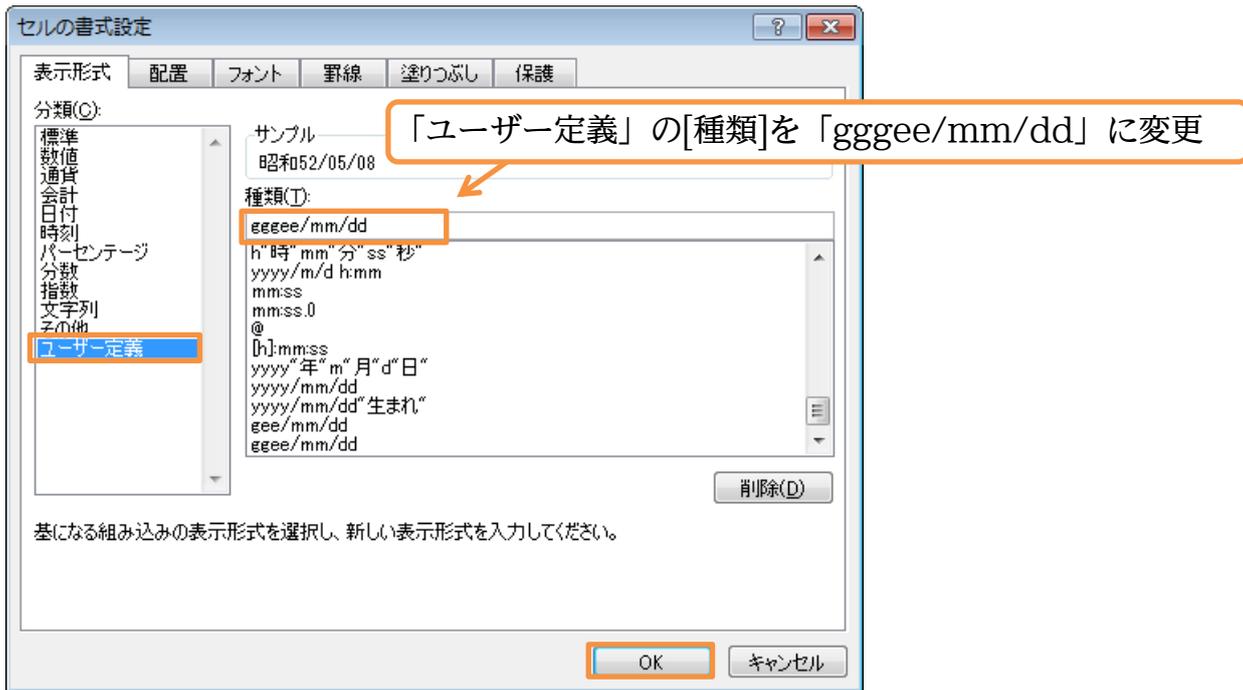
- (4) 元号を漢字1字に変更します。「g」を「gg」としてOKして下さい。



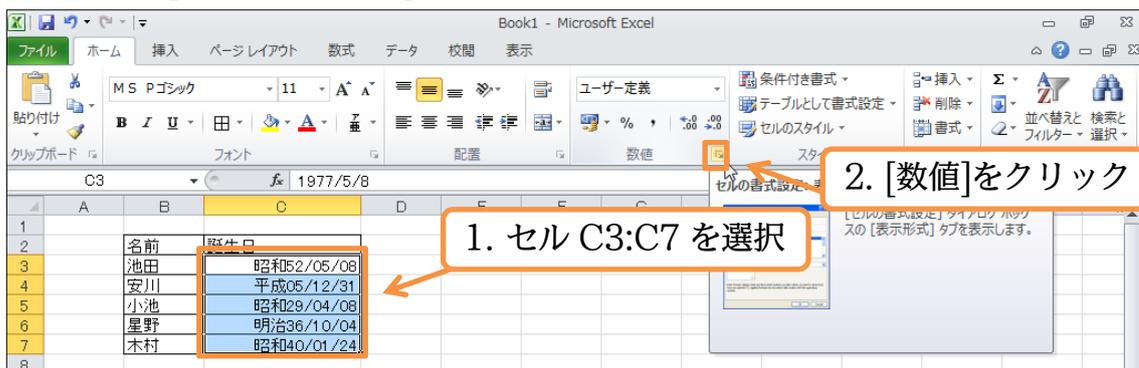
- (5) 元号の部分が1文字の漢字で表されました。今度は元号部に「ggg」を使ってみます。  
[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。



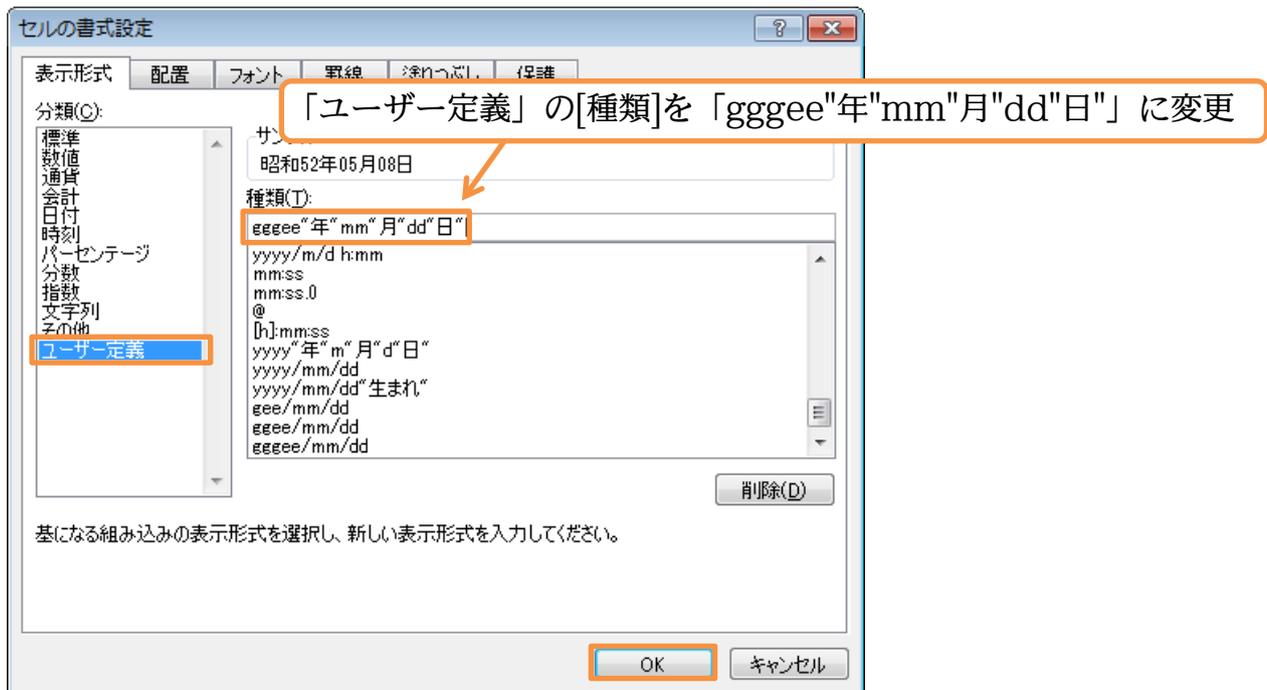
- (6) 「ggg」を日付データに対して使うと、「平成」のような、漢字2字の元号が表示されるようになります。「gg」の部分を「ggg」に変更して下さい。



- (7) 最後にちょっと調整します。「/」の代わりに「年・月・日」を入れてみます。選択したまま[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。



- (8) [種類]を「gggee"年"mm"月"dd"日"としOKしましょう。「年」「月」「日」を半角の「」で囲むのです。

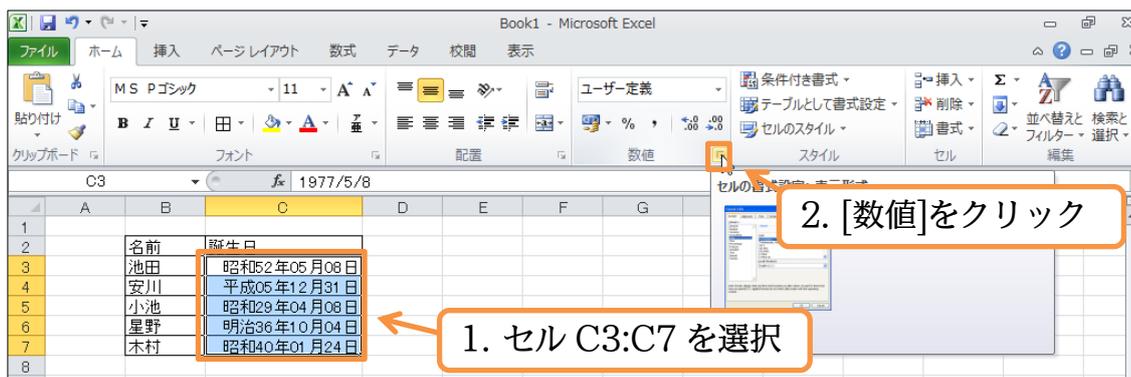


- (9) うまくいったようです。

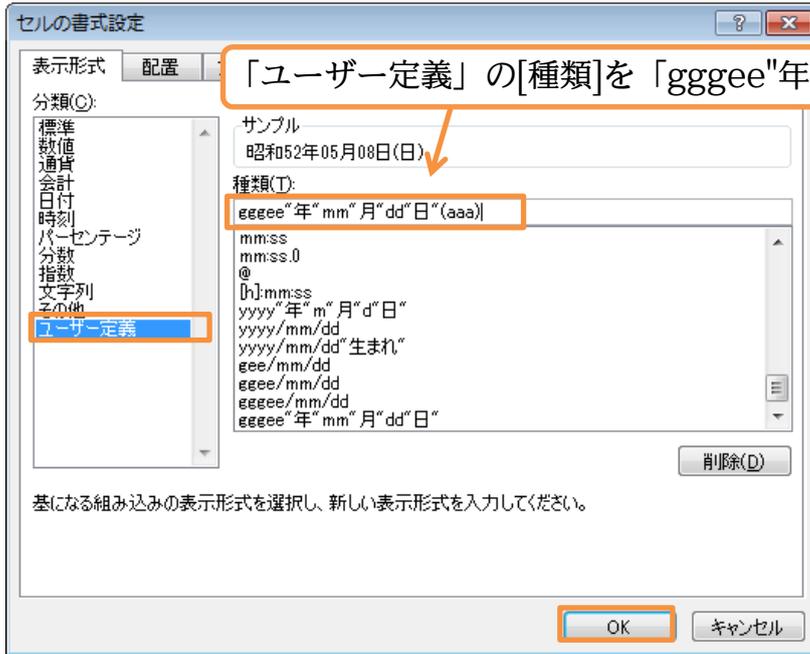
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		名前	誕生日										
3		池田	昭和52年05月08日										
4		安川	平成05年12月31日										
5		小池	昭和29年04月08日										
6		星野	明治36年10月04日										
7		木村	昭和40年01月24日										

## § 1-16…曜日の書式記号

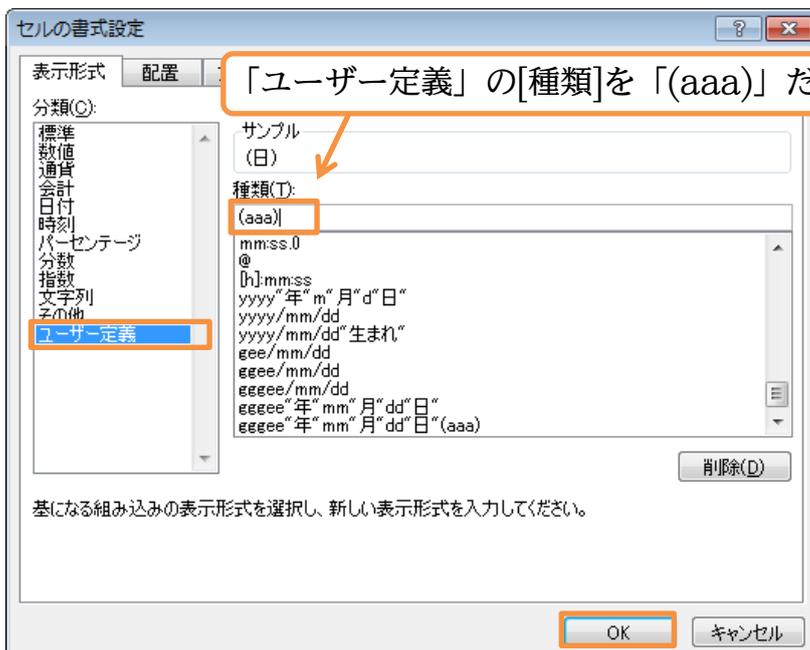
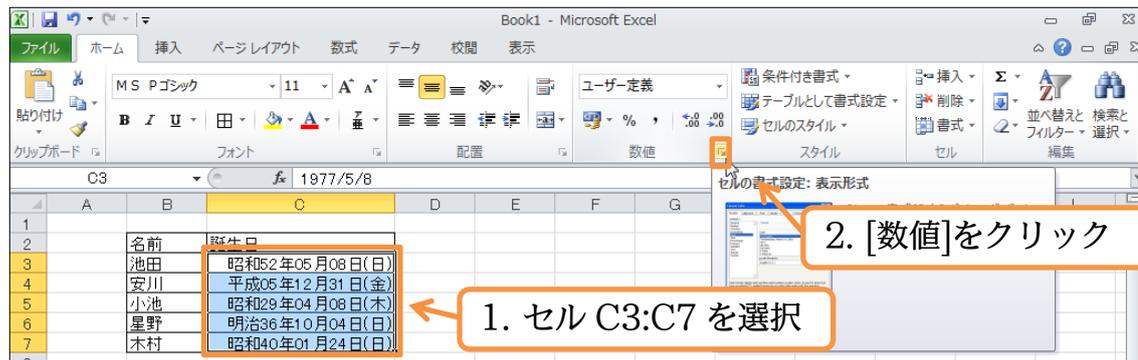
- (1) C列の日付セル群に、「曜日」を表示させてみます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。



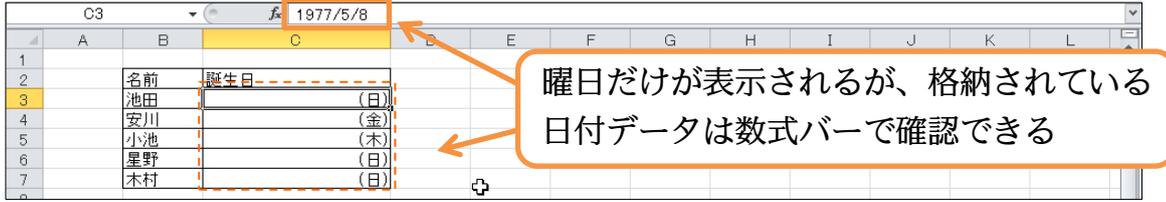
- (2) 曜日を表示させる書式記号は「aaa」です。「木」のように漢字1字で曜日が表示されます。今回は、現在の日付データのあとに、「(aaa)」のように表示させます。以下のように[種類]を変更して下さい。



- (3) 日付データの後に、カッコ付きで曜日を表示させることができました。なお、「日付」を表示させずに、「曜日」だけを表示させることもできます。選択して[セルの書式設定]ダイアログを出して下さい。



- (5) うまくいったようです。なお、[日付]データは消えたわけではありません。隠れているだけです。数式バーを見れば、日付データが残っていることがわかります。完成後はこのファイルを閉じましょう。



### § 1-17…まとめ

- ◆ 西暦 4 桁の年をあらわす書式記号は「yyyy」です。和暦元号においては「g」「gg」「ggg」のいずれかを用います。和暦の年の部分は「e」「ee」を用います。
- ◆ 月をあらわす書式記号は「m」「mm」、日をあらわす書式記号は「d」「dd」です。
- ◆ 曜日をあらわす書式記号は「aaa」です。

### § 1-18…練習問題

- (1) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		出勤日	稼働時間	
3		2002/8/4	4	
4		2002/8/9	5.5	
5		2002/8/13	6	
6		2002/8/18	7	
7		2002/8/25	5	
8		2002/8/26	6	
9		2002/8/27	7	
10		2002/8/30	4	
11				
12		総稼働時間	44.5	
13				

➔

	A	B	C	D
1				
2		出勤日	稼働時間	
3		8/4(日)	4.0時間	
4		8/9(金)	5.5時間	
5		8/13(火)	6.0時間	
6		8/18(日)	7.0時間	
7		8/25(日)	5.0時間	
8		8/26(月)	6.0時間	
9		8/27(火)	7.0時間	
10		8/30(金)	4.0時間	
11				
12		総稼働時間	44.5時間	
13				

- (2) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		氏名	誕生日	
3		川崎弘子	1971/3/6	
4		武藤栄治	1955/11/3	
5		佐野雅夫	1963/4/22	
6		黒川しおり	1989/10/25	
7				

➔

	A	B	C	D
1				
2		氏名	誕生日	
3		川崎弘子様	昭和46年3月6日生まれ	
4		武藤栄治様	昭和30年11月3日生まれ	
5		佐野雅夫様	昭和38年4月22日生まれ	
6		黒川しおり様	平成1年10月25日生まれ	
7				

- (3) 左のような表を作成し、右のように変更しましょう。ただし、C列にはB列と同じデータが入っています(「=B3」などの式)。

	A	B	C	D
1				
2		日付A	日付B	
3		1984/5/7	1984/5/7	
4		1933/4/21	1933/4/21	
5		1924/11/9	1924/11/9	
6		1965/10/22	1965/10/22	
7				

➔

	A	B	C	D
1				
2		日付A	日付B	
3		S59年05月07日	月曜日	
4		S08年04月21日	金曜日	
5		T13年11月09日	日曜日	
6		S40年10月22日	金曜日	
7				

## 第2章:条件付き書式

### §2-1…データバー

(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F
1						
2			昇級基準点		650	
3						
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点	
5		松本	588	575	620	
6		藤井	904	924	900	
7		金田	499	557	530	
8		仲村	686	944	720	
9		林	844	836	830	
10		小橋	723	670	750	
11		栗山	260	359	300	
12		大崎	935	822	900	
13		与田	469	556	500	
14						

(2) 入力されている数値に合わせて、セル内に小型横棒グラフを表示させることができます。これが「データバー」です。C列にデータバーを作成してみます。C5:C13 を選択して、[条件付き書式][データバー]「赤のデータバー」を選択しましょう。

1. C5:C13 を選択

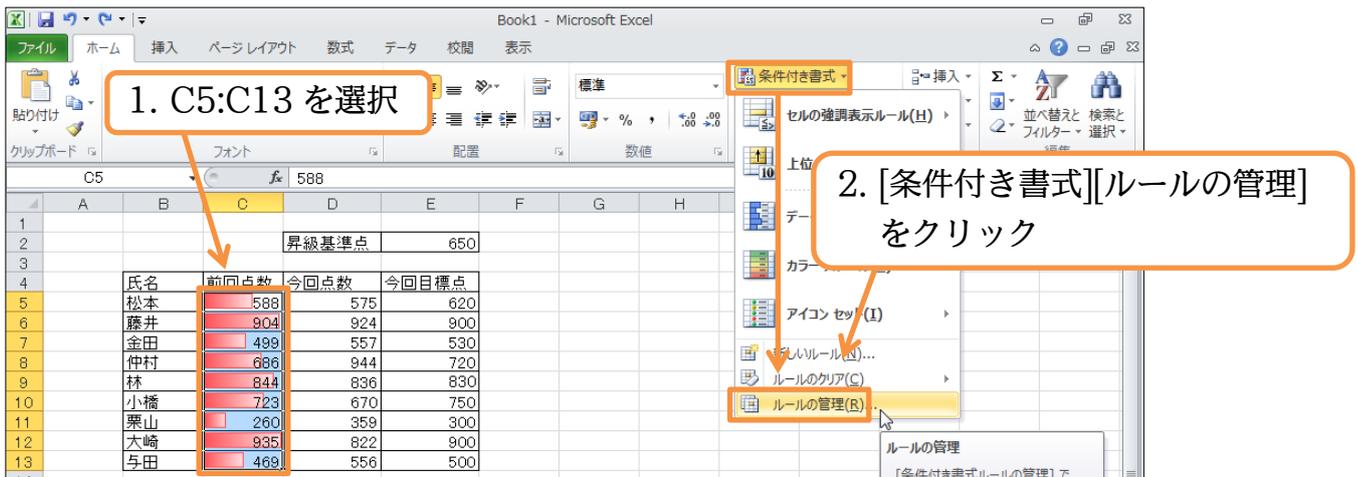
2. [条件付き書式][データバー]「赤のデータバー」を選択

(3) データバーが作成されました。データバーはこの中の最小値(260点)と最大値(935点)を基準に作成されます。

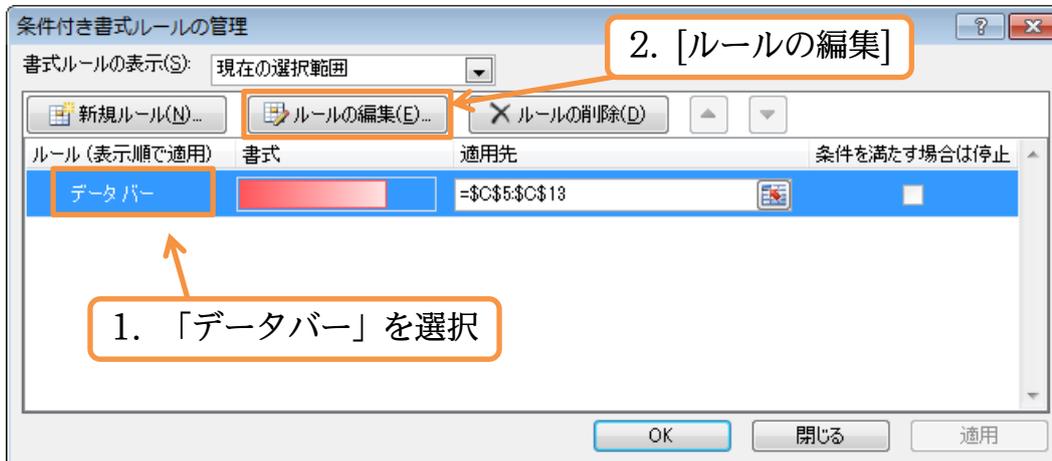
最小値(260点)と最大値(935点)を基準にデータバーが作成された

## § 2-2…データバーの調整

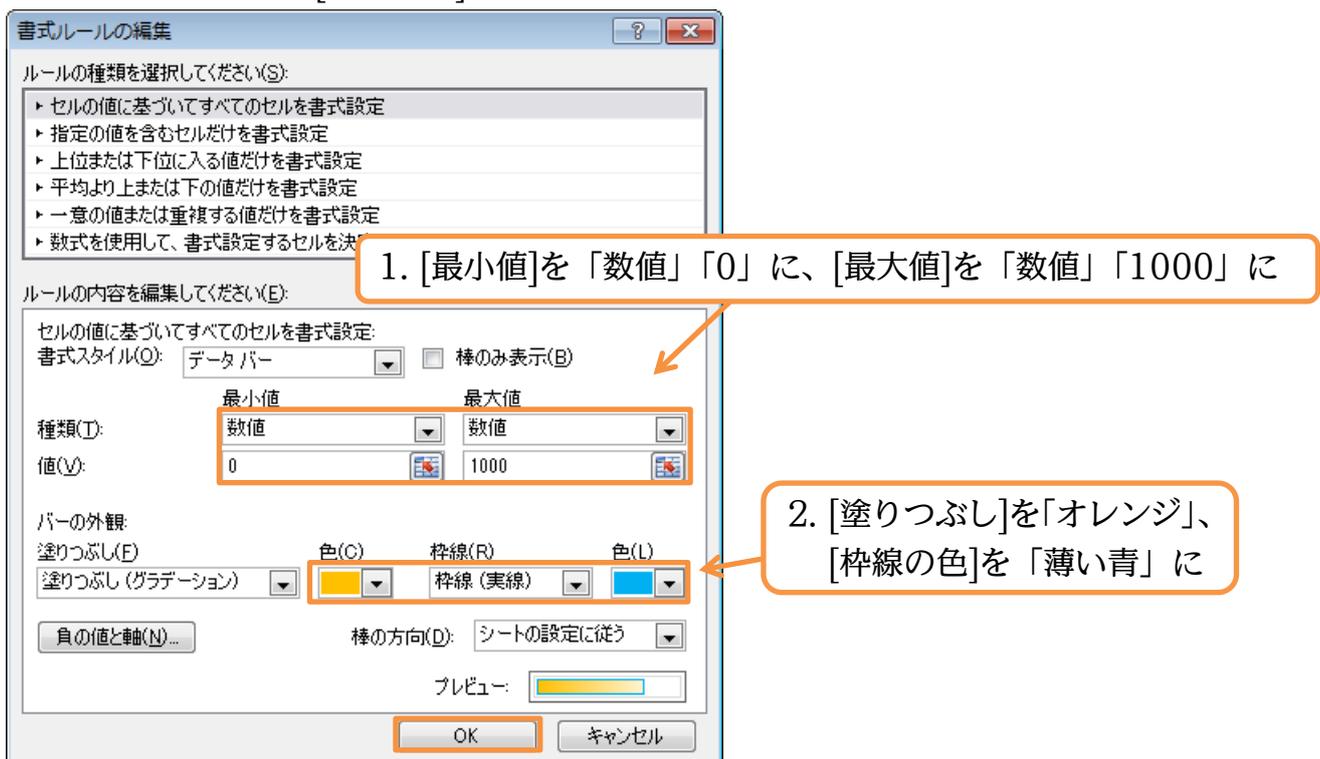
- (1) 現在データバーは「260」を「0%」として表示されています。これを調整します。  
C5:C13 を選択して、[条件付き書式][ルール管理]を使います。



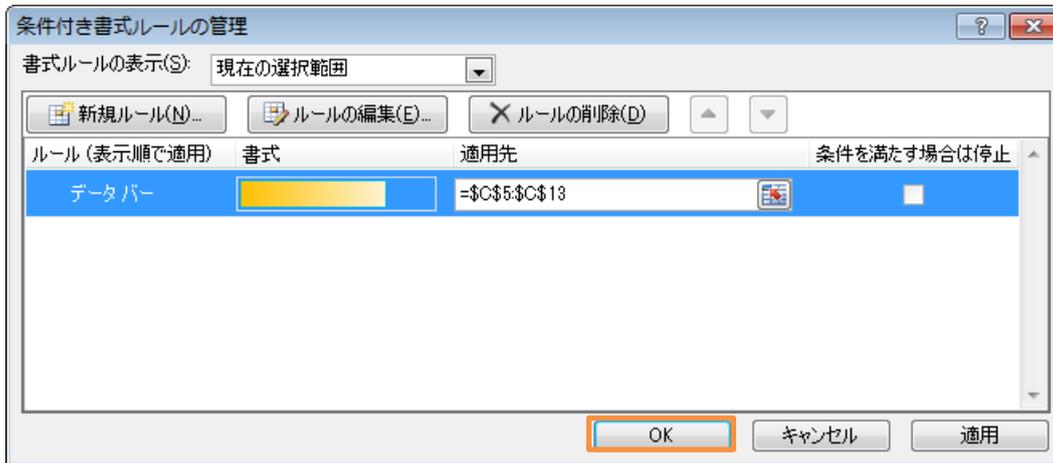
- (2) 「データバー」を選択して[ルールの編集]をします。



- (3) [最小値]を「数値」「0」にします。また[最大値]を「数値」「1000」にしましょう。そうすれば、0点～1000点を基準とした棒グラフが表示されます。また、[塗りつぶし]を「オレンジ」、[枠線の色]を「薄い青」にしてOKしましょう。



(4) OK して変更を確定させます。



(5) データバーが再構築されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				昇級基準点	650								
3													
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点								
5		松本	588	575	620								
6		藤井	904	924	900								
7		金田	499	557	530								
8		仲村	686	944	720								
9		林	844	836	830								
10		小橋	723	670	750								
11		栗山	260	359	300								
12		大崎	935	822	900								
13		与田	469	556	500								

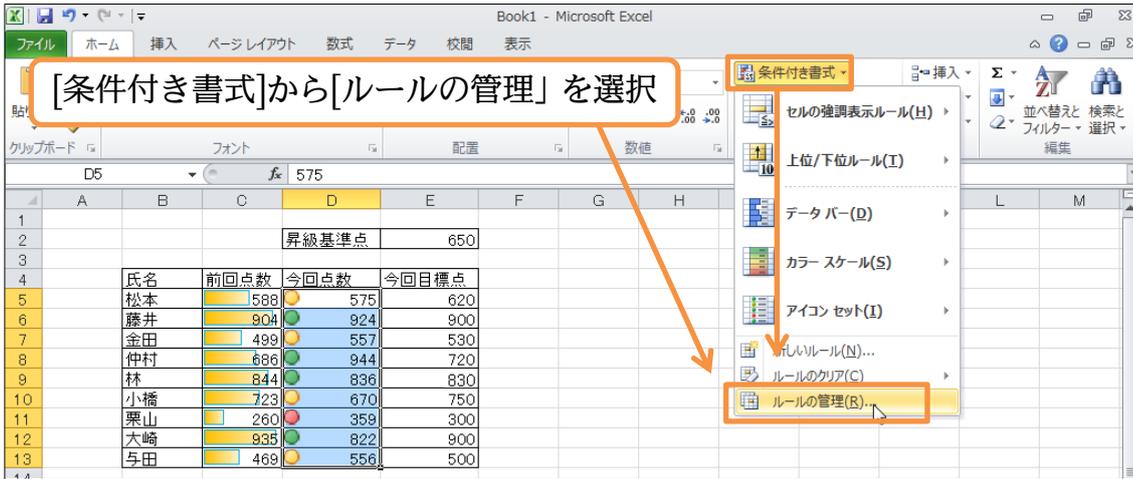
## §2-3…アイコンセット

(1) 「アイコンセット」を使うと、セル内の数値に応じたマークが表示されるようになります。[今回点数]に対してやってみます。選択して[条件付き書式][アイコンセット]「3つの信号(枠なし)」を選択しましょう。上位の値には緑丸が、中位の値には黄丸が、下位の値には赤丸が付きます。

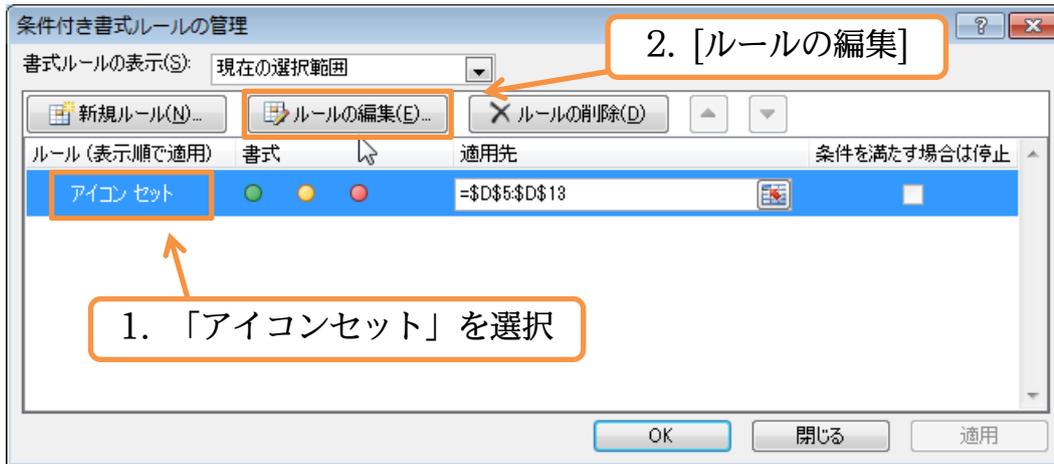
1. D5:D13 を選択

2. [条件付き書式]から[アイコンセット]「3つの信号(枠なし)」を選択

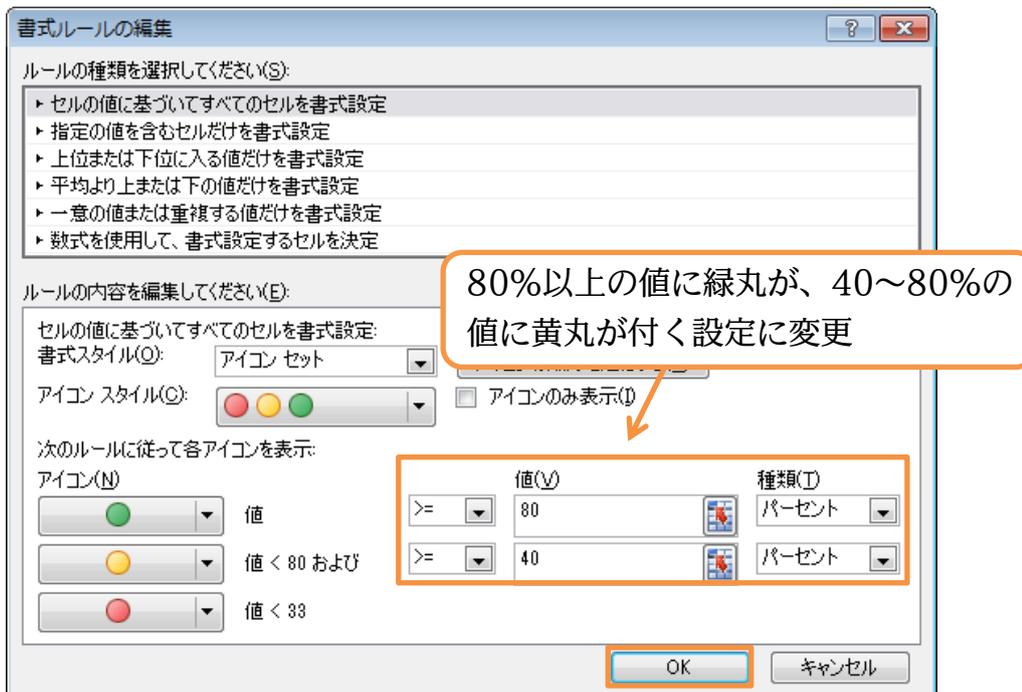
- (2) セルにアイコンセットが付きました。ここで緑丸、黄丸、赤丸の割合を変えてみます。  
[条件付き書式]から[ルール管理]をクリックします。



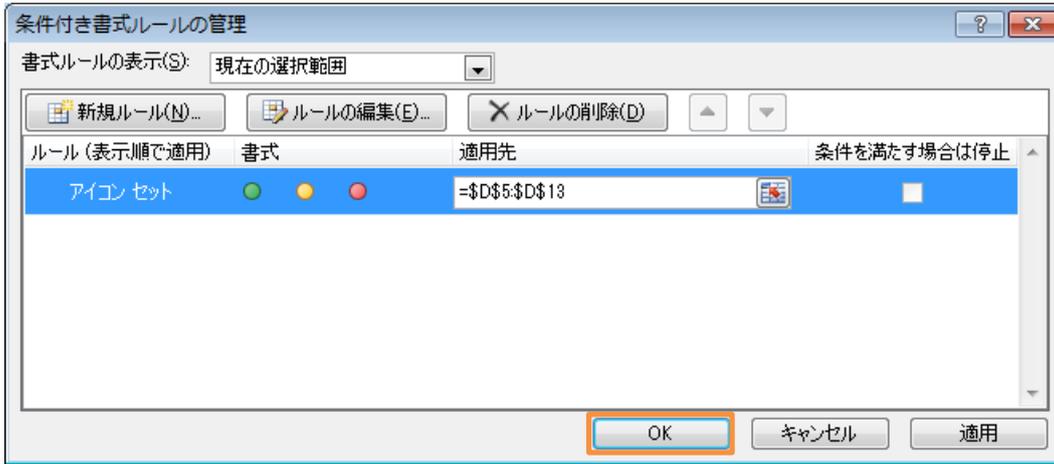
- (3) 「アイコンセット」を選択して[ルールの編集]をします。



- (4) 80%以上の値に緑丸が、40~80%の値に黄丸が、40%未満の値に赤丸が付く設定に変更します。変更後はOKしましょう。



(5) 変更を確定します。

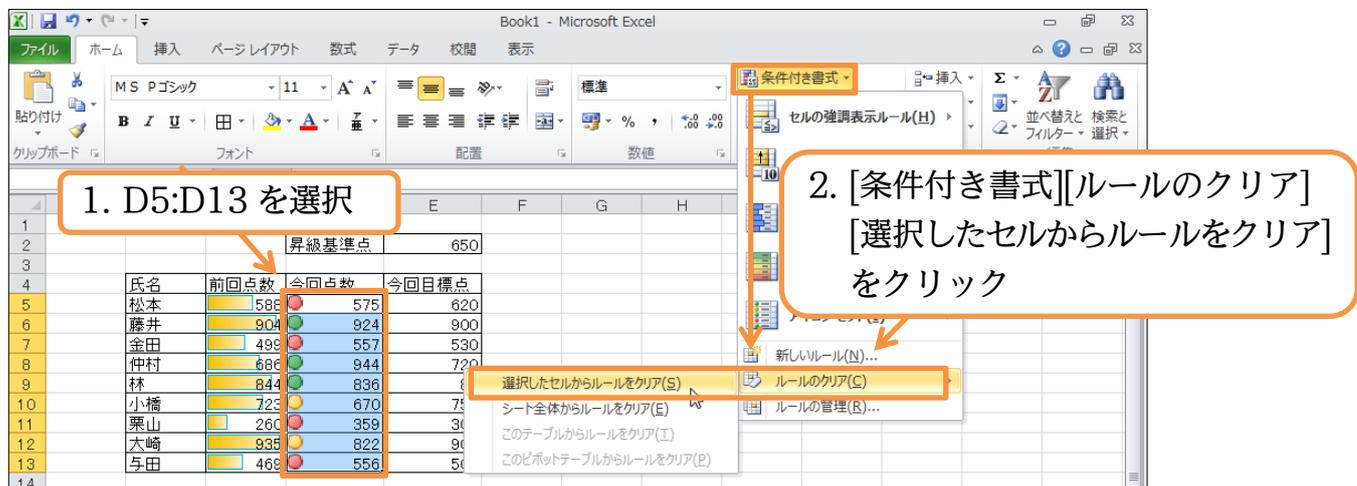


(6) アイコンセットの状態が更新されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				昇級基準点	650								
3													
4		氏名	前回数	今回数	今回目標								
5		松本	588	575	620								
6		藤井	904	924	900								
7		金田	499	557	530								
8		仲村	686	944	720								
9		林	844	836	830								
10		小橋	723	670	750								
11		栗山	260	359	300								
12		大崎	935	822	900								
13		与田	469	556	500								

§ 2-4…条件付き書式のクリア

(1) [ルールのクリア]を使うと、データバーやアイコンセットなどの条件付き書式をクリアできます。D列のアイコンセットを解除します。選択して、[条件付き書式][ルールのクリア][選択したセルからルールをクリア]をクリックしましょう。

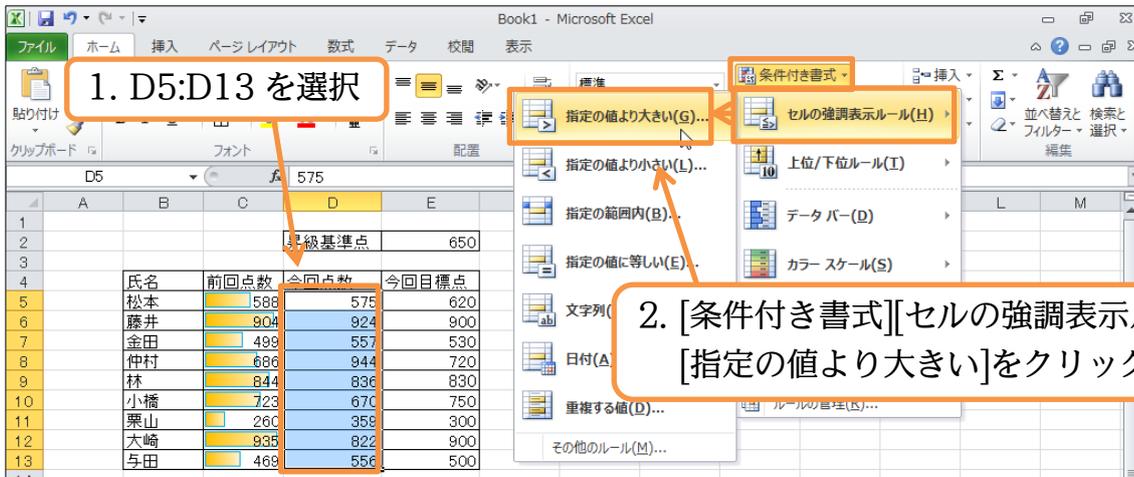


(2) D列の条件付き書式・アイコンセットが削除されました。

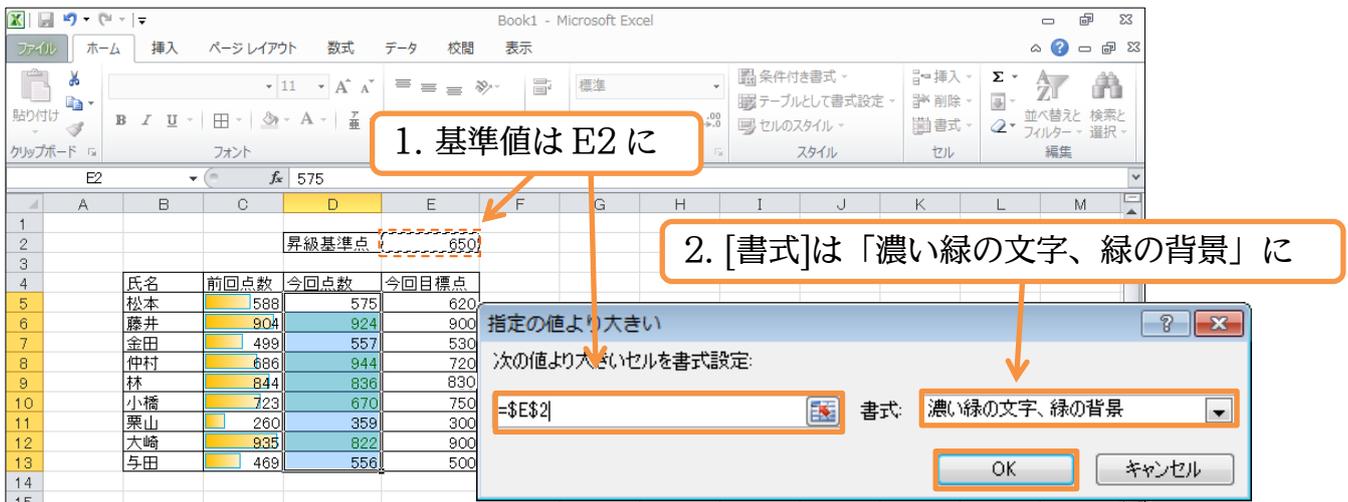
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				昇級基準点	650								
3													
4		氏名	前回数	今回数	今回目標								
5		松本	588	575	620								
6		藤井	904	924	900								
7		金田	499	557	530								
8		仲村	686	944	720								
9		林	844	836	830								
10		小橋	723	670	750								
11		栗山	260	359	300								
12		大崎	935	822	900								
13		与田	469	556	500								

## § 2-5…条件付き書式

- (1) D列の値が、セルE2(昇級基準点：650)より大きい場合に色を付けてみます。色を付けたいセルを選択して[条件付き書式][セルの強調表示ルール][指定の値より大きい]をクリックして下さい。



- (2) 「E2」を基準値とします。基準値はクリックで指定できます。[書式]は「濃い緑の文字、緑の背景」にしてOKしましょう。



- (3) 昇級基準点以上のD列のセルに、色が付きました。

	A	B	C	D	E
1					
2				昇級基準点	650
3					
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点
5		松本	588	575	620
6		藤井	904	924	900
7		金田	499	557	530
8		仲村	686	944	720
9		林	844	836	830
10		小橋	723	670	750
11		栗山	260	359	300
12		大崎	935	822	900
13		与田	469	556	500

- (4) 条件付き書式も再計算の対象です。E2の値を「650」から「830」に変更しましょう。

	A	B	C	D	E
1					
2				昇級基準点	830
3					
4		氏名	前回点数	今回点数	今回目標点
5		松本	588	575	620
6		藤井	904	924	900
7		金田	499	557	530
8		仲村	686	944	720
9		林	844	836	830
10		小橋	723	670	750
11		栗山	260	359	300
12		大崎	935	822	900
13		与田	469	556	500

E2の値を「650」から「830」に

(5) E2 の変更に応じて、条件付き書式の適用個所に変更が生じました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2				昇級基準点	830								
3													
4		氏名	前回数	今回	今回								
5		松本	588	575	620								
6		藤井	904	924	900								
7		金田	499	557	530								
8		仲村	686	944	720								
9		林	844	836	830								
10		小橋	723	670	750								
11		栗山	260	359	300								
12		大崎	935	822	900								
13		与田	469	556	500								

## § 2-6…ルールの変更

(1) 現在D列には、セルE2の値を上回る場合に書式が適用される設定がなされています。この設定を、「580」を上回る場合に適用されるよう変更します。また、背景の色も「黄色」になるよう変更します。選択して、[条件付き書式][ルールの管理]をクリックして下さい。

1. セル D5:D13 を選択

2. [条件付き書式][ルールの管理] をクリック

(2) 現在のルールを選択し、[ルールの編集]をクリックして下さい。

1. ルールを選択

2. [ルールの編集]をクリック

ルール (表示順で適用)	書式	適用先	条件を満たす場合は停止
セルの値 > \$E\$2	Aaあぁアア亜宇	=\$D\$5:\$D\$13	<input type="checkbox"/>